

## 2023年度

科目名称	基礎整復学
授業コード	BH228
英語名称	Fundamental reposition by Judo 5
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	浅木 健治 (医療科学部), 行田 直人 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復術の後療法について 意義, 施術の中の位置づけ, 選択の手順を学習する</li> <li>・各後療法 (手技療法・運動療法) の適応, 禁忌を学習する</li> <li>・救急の場面において必要な救急医療や応急処置の知識を学習する</li> </ul>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復師として必要な後療法 (手技療法・運動療法) の知識と手法と救急の場面で必要な救急医療の知識と実践能力を</li> </ul> <p>長年, 接骨院業務や救護活動に従事し臨床経験のある教員がそれぞれの専門分野を分担して講義・実演する</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディプロマ・ポリシーに掲げる【柔道整復師に必要な医学的知識・技術および基本的技能を有している】を実現できるよう後療法の基礎知識および救急医療について理解・習得する</li> </ul>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 救急法とは 担当教員: 行田【柔道整復師・鍼灸師】</li> <li>2) 心肺蘇生法について 担当教員: 行田【柔道整復師・鍼灸師】</li> <li>3) 応急手当の方法について 担当教員: 行田【柔道整復師・鍼灸師】</li> <li>4) 災害時の対処法について 担当教員: 行田【柔道整復師・鍼灸師】</li> <li>5) 心肺蘇生法実践1 (幼児, 小児) 担当教員: 行田【柔道整復師・鍼灸師】</li> <li>6) 心肺蘇生法実践2 (大人) 担当教員: 行田【柔道整復師・鍼灸師】</li> <li>7) 後療法総論 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>8) 手技療法 (基本型・応用) 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>9) 手技療法 (禁忌) 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>10) 手技療法まとめ 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>11) 運動療法 (運動の基本型) 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>12) 運動療法 (禁忌) 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>13) 手技療法・運動療法まとめ 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>14) 後療法総括 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> <li>15) 全体まとめ 担当教員: 浅木【柔道整復師】</li> </ol>

## 2023年度

授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義と実技にて実施</li> <li>・教科書および配布プリントにて講義内容の理解</li> <li>・当該講義分の問題を実施し、理解度を確認</li> </ul>
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：次回講義該当箇所の教科書および配布プリントの通読</li> <li>・復習：実施した講義回の問題練習の反復学習およびプリント整理 (各回1～2時間)</li> </ul>
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍名：柔道整復学・理論編 改訂第7版</li> <li>・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会</li> <li>・出版社：株式会社 南江堂</li> <li>・出版年：2022年 3月</li> </ul> <p>【参考書：購入任意】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍名：柔道整復師のための救急医学</li> <li>・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会 / 太田祥一</li> <li>・出版社：株式会社 南江堂</li> <li>・出版年：2010年 5月</li> </ul>
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験（100％）</li> </ul>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各講義ごとに確認問題を実施する</li> <li>講義内で解答合わせと解説を行い</li> <li>学生が理解不足の箇所をすぐに確認できるようにする</li> </ul>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Campus Square を参照</li> </ul>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要所で解剖学の知識が必要となるため</li> <li>解剖学（とくに骨・筋）を復習しておくこと</li> </ul>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>Zoomによるオンライン授業 授業動画配信によるオンデマンド授業 課題学修 のいずれかを実施、または複数を組み合わせて実施する</p> <p>定期試験（100％）</p> <p>対面試験が実施できない場合は それに代わる非対面試験で評価する</p>